

# ヴェリタス学習会通信57

予定表カレンダー →



## 令和3年12月の予定

- ・月曜日 6・13・20・27日 大安公民館1階研修室 18:30~21:00
- ・水曜日 1・8・15・22日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00~20:30
- ・木曜日 2・9・16・23日 藤原文化センター2階第1研修室 18:30~21:00
- ・金曜日 3・10・17・24日 北勢福祉センター2階小会議室 18:30~21:00

## 連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189（+メッセージも可能）

メールアドレス：[npoveritas@gmail.com](mailto:npoveritas@gmail.com)

LINE ID：m9s0bay

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければ Messenger が使えます。メールや LINE 登録をさせていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数料削減協力のため、できる限りご登録ください。LINE を利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



## 積雪や路面凍結時には、学習会が休みになります

今年は、南アメリカの太平洋沖でラニーニャ (La Niña) 現象があったようで、日本は暖冬ではないようです。ある程度の積雪が予想されます。また、気温が低いと路面凍結も案じられます。私の車は、今月の点検時に冬用タイヤに換えてもらいましたが、いなべ市は坂の多い街です。車が傷付くのも痛いですが、何より人間の身体に危険が及ぶのは避けたいものです。



路面のようすを見ながらになるので、直前になることもあるかもしれませんが、個別に LINE またはショートメール、電話等で休会の連絡を入れる予定です。連絡がない場合は開会しています。

不安な場合は、遠慮せずに上記の連絡先まで、お問い合わせください。

ちなみにラニーニャ (La Niña) はスペイン語です。英語ならば The (Little) Girl 「その女の子」「あの女の子」という意味です。エルニーニョ (El Niño) 現象というのもあり、こちらは The (little) boy 「その男の子」「あの男の子」という意味です。ただ、この女の子、男の子は、神の力を持った子どもだと聞いています。



## 数える名詞・数えない名詞と冠詞

1. **This is a bike.** これは私の自転車です。
2. **My uncle gave me a bike. This is the bike.** おじは私に自転車をくれました。これはその自転車です。
3. **My uncle gave me his bike.** おじは私に自分の自転車をくれました。
4. **This bike is mine.** この自転車は私の物です。
5. **Whose bike is that?** あれはだれの自転車ですか。



自転車は1台、2台、……、と数えることができます。1台1台独立した別の物体です。このような名詞が英文中に現れるとき、冠詞 (**a, an, the**) か冠詞の代わりになる語 (以後は「冠詞相当語句」といいます) をその名詞の前方に置くことになっています。

1の英文では、冠詞の **a** を省 (はぶ) いて、**This is bike.** とすると (×) になります。特殊な状況下でふさわしい英文になることもありますが、皆さんが答案用紙に書く状況では、ほぼありません。

2では、**a bike** と **the bike** が出てきています。1文目では自転車をもらった人が言っている言葉なので、その人はどんな自転車かすでに知っています。でも、話を聞いている人にとっては、初めて話題に出てきた自転車です。このように話し手だけ知っていて、聞き手がどんな自転車か分からない場合や初めて知らされた名詞の場合には、**a, an** という不定冠詞が使われます。

2文目は **the bike** と定冠詞 **the** が使われています。この段階では、話し手が知っているのはもちろん、聞き手も「ああ、あなたがおじさんにもらった自転車ですよ」と分かっているわけです。このように話し手も聞き手も、どの自転車か特定できる名詞には **the** をつけます。見たことがなくても良いのです。事前情報や知識が少しでもあれば良いのです。

## 冠詞相当語句

3の英文では **his bike** となっています。もらった自転車は、新しく買ったものではないようです。おじさんが使用していたものなのか、買ったまま使わずにいたのか、とにかくおじさん所有の自転車なのです。このように具体的に「だれの」と言いたいときは、名詞や代名詞の所有格を冠詞の代わりに置きます。冠詞と所有格が1つの名詞に重なってつくことはありません。

(×) **a his bike**      (×) **the his bike**      (×) **his a bike**      (×) **his the bike**

所有格は冠詞相当語句の1種です。所有格はこのほか **my, your, her, our, their, Mary's, my mother's, our teacher's, the cat's** などがあります。

「この (自転車)」「あの (自転車)」も冠詞相当語です。4では **this bike** 「この自転車」が出てきていますね。**this, that** は代名詞ですが、形容詞となることもあります。4のように名詞の前で使われている **this, that** は形容詞です。冠詞相当語でもあります。もちろん、冠詞と **this, that** が1つの名詞に重なってつくことはありません。

(×) **this a bike**      (×) **that the bike**      (×) **the this bike**      (×) **a that bike**

(2つめは、英文中でこの語順になることはありますが、**that** が別の役目を果たすときです)

疑問形容詞 **whose** 「だれの」も冠詞相当語句です。 (×) **whose the bike**      (×) **a whose bike**

(1つめは、英文中でこの語順になることはありますが、やはり **whose** が別の働きをするときです)